

【アルファベット】

ADL(えーでいーえる)

日常生活動作(activity of daily living の略)。食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動を指す。

AED(えーいーでいー)

自動体外式除細動器(Automated External Defibrillator の略)。心筋梗塞などにより生命の危険がある不整脈が起こった場合に、自動的に心電図を診断し、必要に応じて電気ショックを行い、正常なリズムに戻すための機器。音声ガイドに従って操作するため、医療従事者でなくても使用できる。

CCU(しーしーゆー)

心臓内科系集中治療室(cardiac care unit の略)。心筋梗塞などを中心に、重症や急性期の心臓病患者を重点的かつ集中的に治療する施設。

QOL(きゅーおーえる)

生活の質のこと(Quality of Life の略)。一個人が生活する文化や価値観のなかで、目標や期待、基準、関心に関連した自分自身の人生の状況に関する認識。

t-PA(ていーぴーえー)

組織プラスミノゲンアクチベーターのこと(tissue Plasminogen Activator の略)。適応のある脳梗塞症例に対し、発症後 4.5 時間以内に静脈内投与することにより、脳梗塞の機能障害を改善させることが期待できる治療として科学的根拠を持った治療法である。一方で、その使用にあたっては、治療の利点が合併症の危険性を上回る必要があり、適応に注意を要する場合がある。

【あ行】

アウトカム指標

施策・事業の実施により発生する効果・成果(アウトカム)を表す指標。

悪性新生物

正常な細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、悪性の性質や経過をたどるもの。いわゆる「がん」がこれに該当して、周囲に浸潤したり、他の組織などに転移することで、臓器の機能不全を引き起こしたり、栄養を必要以上に消耗する。

移行期医療

小児期医療から個々の患者に相応しい成人医療への移り変わりのこと。

一次脳卒中センター(Primary Stroke Center : PSC)

地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24 時間 365 日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬送後可及的速やかに診療(rt-PA 静脈療法を含む)を開始できる施設(日本脳卒中学会認定)。

医療ソーシャルワーカー(Medical Social Worker : MSW)

保健医療機関において、社会福祉の立場から患者や家族の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る専門職。

愛顔の E-IYO(えいよう)プロジェクト

愛媛県において若い世代・働き盛りを対象に食生活・栄養改善に向けて支援する取組み。

えひめ医療情報ネット(愛媛県広域災害・救急医療情報システム)

救急医療に必要な情報の収集・提供を迅速かつ的確に行うとともに、災害発生時には医療情報の一元管理を行い、迅速な災害医療体制の確立を図ることを目的としたシステム。

愛顔の健康づくり応援店

朝食メニュー又は朝食向け商品や、野菜 70g以上が摂れるメニュー又は商品の提供、朝食や野菜摂取の呼びかけを通して、食を通じた健康づくりの応援に取り組んでいる店舗。

嚥下(えんげ)

食物を飲み込む動作。

【か行】

介護支援専門員(ケアマネジャー)

要介護者又は要支援者からの相談に応じるとともに、心身の状況等に応じ適切なサービスを利用できるように、市町・サービス事業者・施設などとの連絡調整を行う者。

都道府県知事が行う介護支援専門員実務研修受講試験に合格し、介護支援専門員実務研修の課程を修了して、都道府県知事の登録を受けることが必要。

回復期リハビリテーション

症状や経過が定まらない急性期治療を超えて、病態が比較的安定した時期に、日常生活や社会復帰を目的として集中的に行うリハビリテーションで、急性期・回復期・維持期と移行していく経過を指す。

冠動脈

心臓に分布し、酸素や栄養を心臓の筋肉に送る血管。左冠状動脈と右冠状動脈がある。

冠動脈バイパス術

脚、胸、腕又は腹部から健康な血管の一部を採取し、この血管を冠動脈の閉塞部分に繋ぐことで、血液が閉塞動脈を迂回して心臓に流れる新しいバイパスをつくる開胸心臓手術のこと。

緩和ケア

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のクオリティ・オブ・ライフ(QOL:生活の質)を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチ。

救急救命士

重度疾病者が病院等に搬送されるまでの間、生命の危険等を回避するために、緊急に必要な気道の確保、心拍の回復等の処置を行うことを業とする者。

急性大動脈解離

大動脈とは、心臓から全身に血液を送る太い動脈のこと。その大動脈の内側に亀裂が入り、その裂け目から血液が大動脈の壁を裂いて壁内に流れ込む病気。

虚血性心疾患

狭心症・心筋梗塞などの冠動脈が関係する心臓病のこと。

禁煙外来

禁煙を目指すための専門外来のこと。カウンセリングや生活指導といった精神面での禁煙サポートや、ニコチンガム・ニコチンパッチを使用したニコチン置換療法などによる禁煙治療が行われる。

クリティカルパス

良質な医療を効率的、かつ安全、適正に提供す

るための手段として開発された診療計画表。

経皮的冠動脈形成術

手足の血管から管(ガイディングカテーテル)を入れ、その管の中にさらにもう一本のバルーンカテーテル(先端に風船のついた管)を入れて閉塞した冠動脈の病変部を拡張する治療法。

経皮冠動脈ステント置換術

ステントという拡張可能な小さいメッシュ状の金属の筒を血管に留置して、血管の開通性を保持し再閉塞を予防する治療法。

血栓回収術

カテーテルを主に脚の付け根から血管の中に挿入して、血管内に詰まっている血栓をカテーテルを用いて吸引したり、血栓除去デバイスを用いて回収除去したりする治療法。

血栓溶解療法

血栓を溶かす薬剤を用いて、脳梗塞や心筋梗塞の原因となっている血管内の血のかたまりを溶かす治療方法。

健康サポート薬局

厚生労働大臣が定める一定基準を満たしている薬局として、かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加え、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や食事・栄養摂取に関することまで気軽に相談できる薬局のこと。

健康寿命

特に制限なく、食事、入浴、排泄などを自己で行い、自立した日常生活を送ることができる期間をいう。国民生活基礎調査に基づき日常生活に制限のない期間から平均を算出したもの。

言語聴覚士(Speech Therapist : ST)

医師の指示のもと、ことばによるコミュニケーションや嚥下(えんげ)に困難を抱える人に対し、問題の程度、発生のメカニズムを評価しその結果に基づいて訓練、指導等を行う専門職。

口腔ケア

歯磨きなどで口の中をきれいに保つだけでなく、健康保持や口腔機能向上のためのリハビリを含んだ幅広いケアのこと。歯や歯茎、舌、粘膜、入れ歯を含む口の中の清掃、口腔内や口の周りのマッサージ、咀嚼や嚥下のトレーニング、リハビリなどが含まれる。

誤嚥性肺炎

誤嚥(ごえん:食べ物や唾液が気道に入ること)がきっかけになって、主に口の中の細菌が肺に入り込んで起こる肺炎。

高血圧症

血圧とは、血液が動脈を流れる際に血管の内側にかかる圧力のこと。

安静状態での血圧が慢性的に正常値よりも高い状態をいう。診察室で収縮期血圧(最大血圧)が140mmHg以上、または拡張期血圧(最小血圧)が90mmHg以上の場合をいう。

高次脳機能障害

知覚、記憶、学習、思考、判断などの認知過程と、行為の感情(情動)を含めた機能を高次脳機能という。

外傷や脳血管障害等の脳損傷に起因する認知障害全般を指し、具体的な症状には、失語・失行・失認、認知障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害がある。

【さ行】

作業療法士(Occupational Therapist : OT)

医師の指示のもと、障がいのある方に日常生活の動作、生活の中における作業や動作等を用いて訓練・指導・援助を行う専門職。

脂質異常症

中性脂肪やコレステロールなどの脂質代謝に異常をきたし、血液中の値が正常域をはずれた状態。

失語症

言語に関係する機能障害で、発語に関する筋肉や支配神経に異常はなく、知能や意識の低下もなく、聴力にも障がいはないのに、言語による表現や文字の理解ができないものをいう。具体的には、「話す、復唱する、聞いて理解する、読んで理解する、筆記する」などができなくなるによりコミュニケーションにも支障がでるもので、脳卒中の後遺症の一つとして認められることがある。

受動喫煙

喫煙により生じた副流煙と呼出煙とが拡散して混ざった煙を吸わされてしまう、あるいは吸わせてしまうこと。たばこを吸わない人でも、継続的な受動喫煙により健康被害が発生する。

循環器病

脳卒中、心臓病などの循環器に関わる病気を「循環器病」としてあつかう。具体的には、虚血性脳卒中(脳梗塞)、出血性脳卒中(脳内出血、くも膜下出血など)、一過性脳虚血発作、虚血性心疾患(狭窄症、心筋梗塞など)、心不全、不整脈、弁膜症(大動脈弁狭窄症、僧帽弁逆流症など)、大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤など)、末梢血管疾患、血栓塞栓症、肺高血圧症、心筋症、先天性心・脳血管疾患、遺伝性疾患等多くの疾患が含まれる。

心血管疾患(心疾患)

心臓の構造や機能(働き)の異常により生じる病気の総称で、その中に、心不全、冠動脈疾患(虚血性心疾患ともいう)、心臓弁膜症、心筋症、不整脈、先天性心疾患などがある。

生活習慣病

食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が原因で起こる疾患の総称。高血圧や糖尿病、脂質異常症などが含まれ、重篤な疾患の原因となる。

先天性心疾患

生まれつき心臓や血管の構造の一部が、正常とは違う病気。およそ100人に1人(約1%)、年間1万人の赤ちゃんが先天性心疾患をもって生まれる。

粗死亡率

一定期間の死亡数を単純にその期間の人口で割った死亡率のこと。

【た行】

大動脈瘤

大動脈(通常は20~25mm程度)がこぶのように病的に膨らんだ状態(30~40mm以上)のこと。

地域連携室

患者がスムーズに医療機関へ受診・入院ができるように、また医療機関から退院・転院することができるように、地域の医療・介護サービスを連携させるのが目的の部署のこと。

地域連携クリティカルパス

急性期の医療機関から回復期の医療機関を経て、自宅等(地域)に戻るまでの治療経過に従って、それぞれの医療機関が診療計画を作成し、治療を受ける全ての医療機関で共有して用いる診療計画表。診療にあたる複数の医療機関が役割分

担を決め、あらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者が安心して医療を受けることを目指すもの。

地域連携薬局

地域連携薬局:入退院時の医療機関等との情報連携や、在宅医療等に地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応できる薬局。

てんかん

突然意識を失って反応がなくなるなどのてんかん発作を繰り返し起こす病気。てんかん発作は、脳にある神経細胞の異常な電気活動により引き起こされる発作のことで、突発的に運動神経、感覚神経、自律神経、意識、高次脳機能などの神経系が異常に活動することで症状が出る。

糖尿病

インスリンの作用不足により高血糖が慢性的に続く病気。網膜症・腎症・神経障害の三大合併症をしばしば伴う。さらに、動脈硬化の原因となり、脳卒中や虚血性心疾患を引き起こす。

特定健診(特定健康診査)・特定保健指導

特定健診は平成 20(2008)年 4 月から、40 歳～74 歳までの公的医療保険加入者全員を対象にメタボリックシンドロームに着目した健診のこと。

特定保健指導は、特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が期待できる方に対して、専門職(保健師、管理栄養士等)が生活習慣の改善に向けたサポートを行うこと。

【な行】

21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)

平成 12 年に厚生労働省により提唱され、すべての国民が健やかで心豊かに生活するため、一次予防の観点を重視しながら、関係団体と連携し、国民が健康づくりに主体的に取り組むことを推進していく運動。令和 3(2021)年時点、健康日本 21(第二次)となっており平成 25(2013)年から令和 5(2023)年の 11 年間の計画となっている。

認定看護師

日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者で、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいう。認定看護分野には、脳卒中リハビリテーション看護、慢性心不全看護などがある。

年齢調整死亡率

年齢構成が著しく異なる人口集団の間での死亡率や、特定の年齢層に偏在する死因別死亡率などについて、年齢構成の違いに影響されない比較をするために年齢構成を調整した死亡率。

脳血管疾患

脳動脈に異常が起きることが原因でおこる病気の総称。脳卒中がもっとも知られている。

脳動脈瘤

脳動脈の血管壁が薄くなったりもろくなることで、そこが膨らんで血液が入り込み瘤状に腫れたもののこと。破れると、くも膜下出血を引き起こされる。

【は行】

廃用症候群

過度に安静にすることや活動性が低下したことによる心身に生じるさまざまな機能低下のこと。生活不活発病とも呼ばれる。

標準化該当比

基準集団での有所見率を 100 とした時に、有所見率を相対値で表したものの。

プレホスピタルケア

病院前救護。人が病院の外で重篤な病気を発症したりけがを負ったりしたときに、救急隊員等が傷病者についての情報を受け急行し、現場で必要な救護を行い、そのあと患者を適切な医療機関に搬送するといった病院外での救急活動。

プロトコール

治療・治験内容を詳細に示した実施計画書や、系統だった疾患の診断・治療手順を指す。

訪問看護

疾病又は負傷により居宅において継続して療養を受ける状態にある者に対し、その者の居宅において主治医の指示を受けた看護師等による療養上の世話又は必要な診療の補助を行うこと。

訪問診療

患者宅に計画的、定期的に訪問し、診療を行うこと。

【ま行】

メタボリックシンドローム

日本では、ウエスト周囲径(おへその高さの腹囲)が男性 85 cm・女性 90 cm以上でかつ、血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準を超えると、メタボリックシンドロームと診断される。

メディカルコントロール(MC)

医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急措置等の質の保証をするために、救急救命士に対する指示体制及び救急隊員に対する指導・助言体制の充実、救急活動の医学的観点からの事後検証体制の充実、救急救命士の病院実習等の再教育体制の充実等を整備し運用していくシステムのこと。

メディカルコントロール(MC)協議会

メディカルコントロール(MC)体制構築のための実質的な調整や検証を行う組織。

【ら行】

理学療法士(Physical Therapist : PT)

医師の指示のもと、けがや病気などで身体に障がいのある人等の身体運動機能の回復や維持・向上を図り自立した日常生活が送れるよう、運動の指導や物理療法を行う専門職。

両立支援コーディネーター

治療と仕事の両立に向けて、支援対象者、主治医、会社・産業医などのコミュニケーションが円滑に行われるように支援する者。対象者が治療と仕事を両立できるよう、それぞれの立場に応じた支援の実施及び両立支援に関わる関係者との調整を行う。

老人保健施設

介護を必要とする高齢者の自立を支援し、在宅復帰や在宅療養支援などを行うための施設。

ロジックモデル

事業の実施とアウトカムとの関係を論理的に示すもの。